

対策概要

- 排泥濃縮槽設備における送泥ポンプやスラッジ掻寄機等について、運転時間・運転間隔の調整による運転の効率化を行うことで、エネルギー消費量を削減する。

導入可能性のある業種・工程

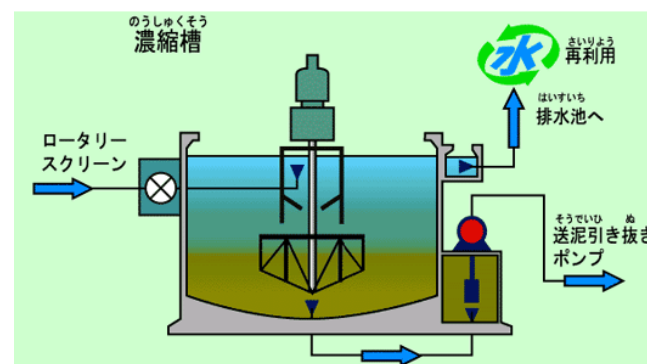
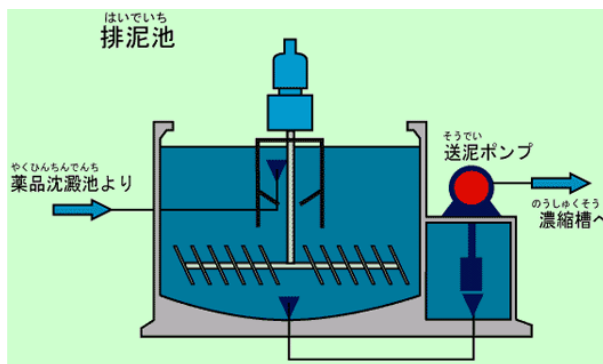
上水道・工業用水道 / 排水処理工程 / 排泥濃縮槽設備

原理・仕組み

- 排泥濃縮槽設備において、送泥ポンプやスラッジ掻寄機等は運転時間が長くエネルギー消費が多い。濃縮槽に沈降したスラッジ量に応じて、送泥ポンプやスラッジ掻寄機の運転時間、運転間隔を調整し、効率的な運転を行うことで、エネルギー消費量を削減する。

排泥濃縮槽設備の概要

- ・ 排泥濃縮槽設備では排泥池、濃縮槽により処理が行われる。排泥濃縮槽設備において沈でんした汚泥は、送泥ポンプにより次の工程に送られるが、送泥ポンプの運転時間が長くなるとエネルギー消費量が増加する。
- ・ 排水処理に影響を与えるような過度な調整や設備停止の恐れがある運転とならないよう留意する必要がある。



排泥濃縮槽設備のイメージ[1][2]

出所) [1]宇都宮市上下水道局「排泥池」
<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/josuido/jigyo/about/suidosui/1002763.html> (閲覧日：2024年9月6日)
[2]宇都宮市上下水道局「濃縮槽」
<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/josuido/jigyo/about/suidosui/1002764.html> (閲覧日：2024年9月12日)

効率・導入コストの水準

- 効率水準：－
- 導入コスト水準：－

備考

- ・ －